

2017年2月24日

### 保険会社ならではのカーナビアプリ『ポータブルスマイリングロード』への新機能追加

～「東京大学、ナビタイムジャパンとの共同開発による事故防止機能追加」と「マイルでプレゼント応募」～

損害保険ジャパン日本興亜株式会社(社長:西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」)は、個人向けスマートフォン用カーナビアプリ『ポータブルスマイリングロード』において、楽しみながら安全運転に取り組んでいただける保険会社ならではの機能を2017年3月から追加します。

#### 1. 新機能追加の背景

損保ジャパン日本興亜は、2016年10月から、高機能カーナビアプリ<sup>(※)</sup>『ポータブルスマイリングロード』を、損保ジャパン日本興亜のご契約者に限らずご利用いただけるアプリとして提供しています。

昨今、自動車の安全性能向上等に伴い、自動車事故件数は減少傾向にあります。若年層など依然として事故率が高い世代もあり、ドライバー自身による安全対策は不可欠な状況です。一方、テレマティクス、走行データ等のビッグデータ解析、AIなどの技術革新が進んでおり、このような技術の事故防止への活用が期待されています。

こうした背景をふまえ、損保ジャパン日本興亜は、事故を1件でも減らしたいという思いから、東京大学との共同研究によりビッグデータ解析技術の高度化を進め、その研究内容を活用することで一層安全に運転していただける新機能の開発を行いました。さらに、既にご利用いただいているお客さまからのご要望をふまえ、安全なドライブを継続していただくため、『ポータブルスマイリングロード』を利用する「楽しさ」を感じられる機能を追加しました。

(※)カーナビゲーション機能は、株式会社ナビタイムジャパン(社長:大西 啓介、以下「ナビタイムジャパン」)から提供を受けています。

#### 2. 新機能の概要

##### (1)追加する主な機能

主な機能	機能概要
① 潜在的な事故リスク地点データの追加 ※詳細は【別紙】をご参照ください。	東京大学と損保ジャパン日本興亜が共同研究した、「事故が発生する可能性のあるヒヤリハット地点データ <sup>(※1)</sup> 」を、「事故多発地点アラート <sup>(※2)</sup> 」に追加します。 (※1)損保ジャパン日本興亜のテレマティクスサービスで収集した走行データを分析し、約1,000箇所を推定。 (※2)ナビタイムジャパンと共同開発(特許出願中)
② 安全運転でマイルを貯めてプレゼント応募	運転診断結果に応じて、安全運転すればするほどポイント(マイル)が貯まります。貯めたマイルは、アプリ内のプレゼント応募に使用でき、抽選によりプレゼントがもらえます。
③ 話題のスポット情報の提供(おでかけプラン)	話題のスポットから旬のイベント情報まで、お客さまの属性をふまえたおでかけ情報を提供します。行きたいスポットをそのまま目的地に設定し、スムーズにルート案内を利用いただけます。
④ その他機能の追加	車検満了日などのお車情報の入力欄を新設しました。 車検期日が近づくとアプリでお知らせします。

<画面イメージ> ※画面は開発中のイメージです。

#### 事故多発地点アラート

音声通知で危険な場所が  
近づく前にわかる



まもなく事故多発地点です



#### プレゼント応募

運転診断や走行距離で  
貯まるマイル  
(ポイント)で  
プレゼントをゲット



#### おでかけプラン

話題のスポットや季節の  
特集記事から  
おでかけ情報が見つかる



### (2) 提供開始日

2017年3月(予定)

### (3) 提供対象

スマートフォンご利用の個人の方はどなたでも無料で利用可能

※一部の機能は損保ジャパン日本興亜の自動車保険ノンフリート契約者限定となります。

### 3. 今後の展開

損保ジャパン日本興亜は、今後も『ポータブルスマイリングロード』を通じて、さらなる自動車事故の削減や安全・安心な社会の実現に貢献していきます。

以上

## 【別紙】交通事故削減に向けた東京大学との共同研究について

損害保険ジャパン日本興亜株式会社(社長:西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」)は、国立大学法人東京大学生産技術研究所と、自動車走行データを活用した交通事故削減に向けた共同研究を開始しました。

### 1. 背景

近年、データベース処理技術や、大容量データの計算処理速度の向上といったビッグデータ技術の急速な発展により、自動車走行データを活用した道路交通分野の調査・研究が可能となりました。このような背景から、これまで直接的な観察が困難であった運転挙動データを利用することで、災害時の走行実績マップや急ブレーキ多発地点等の交通事故リスク情報の提供といったさまざまなサービスが広がってきています。

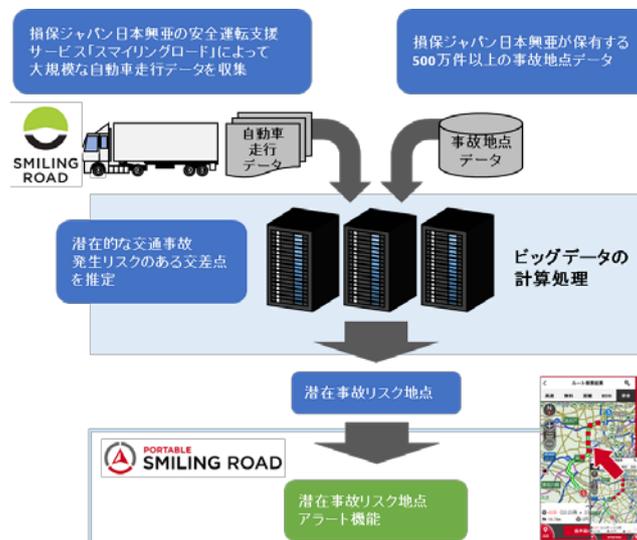
損保ジャパン日本興亜は、交通事故削減を目的に展開している安全運転支援サービス『スマイリングロード』<sup>(※)</sup>および『ポータブルスマイリングロード』によって収集される大量の自動車走行データを活用し、ドライバーの皆さまの安全運転に資するさまざまな情報・サービスを提供していくことを目指しています。そこで、大容量データの処理・解析において実績のある東京大学生産技術研究所 喜連川・豊田研究室と、損保ジャパン日本興亜が収集した自動車走行データの利活用について共同研究を開始しました。

(※)損保ジャパン日本興亜が提供する企業向け事故防止サービスの名称です。

### 2. 共同研究の概要

損保ジャパン日本興亜は、東京大学生産技術研究所 喜連川・豊田研究室との共同研究の第一弾として、潜在的な交通事故発生リスクのある交差点を推定する手法の研究開発を2015年2月から開始しました。

本研究では、『スマイリングロード』の自動車走行データと損保ジャパン日本興亜が保有する500万件以上の事故地点データを元に、交差点で行われる大量の運転操作データと事故発生データを組み合わせて分析することで、「急加速」「急減速」「急な右左折」等の交通事故につながる可能性が高い運転操作を推定し、各交差点の事故リスクの性質に応じた注意喚起を行います。本知見は、『ポータブルスマイリングロード』に今回追加される「潜在事故リスク地点アラート機能」においてサービス提供を開始し、今後その機能による運転の変化や効果等の情報のフィードバックから、さらに高度なリスク推定手法を研究開発していきます。



### 3. 今後の展開

損保ジャパン日本興亜は、今後も東京大学生産技術研究所 喜連川・豊田研究室と共同で、『スマイリングロード』および『ポータブルスマイリングロード』から収集される自動車走行データを活用した研究を通じて、交通事故削減に資する新規サービス開発につなげていきます。

以上